広報とちお

第15号

昭和三十二年二月二十日第三種郵便物認可（毎月十日発行定価一部二円）

発行人 栃尾市
新潟県栃尾市
電話（代表）750

人口の動き
（11月末日現在）
男 18,753人
女 19,925人
計 38,678人
世帯数 7,162

みのりの秋を色どり

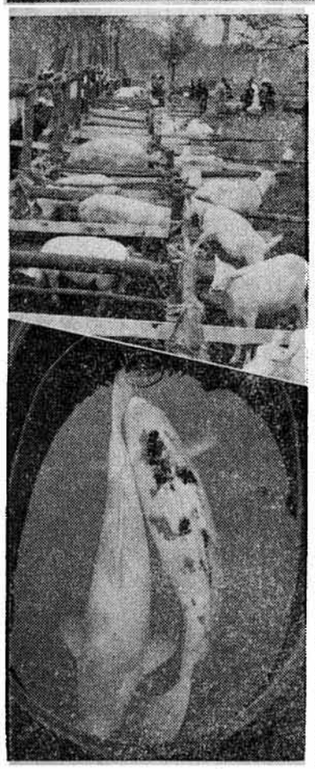
第一回農業祭総合品評会終る

各部から二八〇名を表彰

第一回栃尾市農業祭総合品評会が十一月十七日栃尾高等学校において開かれました。

この日集った出品は、農産物二九八点、蚕繭三六六点、養鯉一八六点、家畜五一点、計九〇一点の多数であって、農産物、蚕繭は屋内運動場に展示され、慎重審査の結果入賞者が選ばれました。また、会場内には各種の農機具が参考品として展示され、小型トラクターなどエンジンの音も高く人気をよんでいました。

午後一時からは、毎日新聞社論説委員、奥野正己先生の「転換期の農政」と題した講演会が約二時間にわたり行われ、引続いて審査長から審査報告があって、各部入賞者の表彰式にはいり、すでに決定していた第一回推肥品評会、第三回苗代品評会、第三回水稲多収穫共進会の入賞者についてもそれぞれほう賞状および賞品が贈られ盛会だった第一回農業祭総合品評会の一日を閉じました。



各部一位入賞者次のとおり

農産物の部

▽玄米〔越路早生〕◎知事賞＝稲田粂夫（楡原）▽大豆〔越後濃谷〕○中越支庁長賞＝高橋宗七（北荷頃）▽里芋＝佐藤半次郎（文納）▽白菜＝矢沢ヒロ子（鶏ケ島）▽午蒡＝（滝の川）佐藤茂一（文納）▽柿〔八珍〕＝桜井重道（高校）

蚕繭の部（品種名略す）

【春蚕繭】知事賞＝鈴木国松（森上）千野ミツイ（西谷）諸橋孫次郎（半蔵金）

【夏秋蚕繭】渡辺清松（北荷頃）福王寺平七（小向）外山マツ（小貫）石丸カツイ（半蔵金）○中越支庁長賞＝亀沢兵蔵（泉）多田昭二郎（半蔵金）

養鯉の部

【第一部】紅白＝小林富次（仲子町）【第二部】三色＝鯉政（一之貝）【第三部】紅白＝川上四郎（小向）紅白＝推谷金兵工（赤谷）【第四部】三色◎知事賞＝渡辺民十郎（一之貝）紅白＝渡辺民十郎（一之貝）○中越支庁長賞＝米山通雄（中）

家畜の部

▽豚＝佐藤久左工門〔栃尾農協養豚部〕▽種豚◎知事賞＝笠井長一〔栃尾農協養豚部〕▽和牛○中越支庁長賞＝諸橋信一〔北荷頃〕▽緬羊＝諸橋義英〔北荷頃〕▽山羊＝笠井長一〔一之渡戸〕

（反）（収）

四石三斗八升六合

米作栃尾一は浅野さん

第三回水稲多収穫共進会

▼四石三斗八升六合〔農林四三号〕浅野達（一之貝）▼四石二斗四升〔新七号〕諸橋正久（半蔵金）▼四石二斗一升八合〔北陸五二号〕飯浜利武（下塩）

第一回推肥品評会

葛綿清（大野原）内山大吉（入塩川）石丸一夫（下塩）

第三回苗代品評会

佐藤市四郎（入塩川）多田虎治（雀谷）中西三成（泉）木間秀雄（松尾）阿部惣吉（下塩）

〔写真＝上から表彰、家畜、養鯉〕

年賀状は廿四・五日頃差出し終ろう

年賀郵便特別取扱（十五日から二十八日まで）が始った。今から準備して、遅れがちになりやすい年賀状を本年はぜひ取扱開始早々に差し出されるようにお勧めします。

年賀状差し出し上の注意

一、早く寄付金づきお年玉年賀はがきを買求ること。本年も四円、五円の二種類で特等賞は加茂産桐たんす

二、住所、氏名には、丁目、番地、肩書（家主、世帯主名等）をもらさず詳しく、はっきりと書くこと。

三、「年賀郵便」と書いた紙をつけてひもでたばねるか、一枚一枚「年賀」と朱書して一般郵便にまじらないようにすること。

四、なるべく郵便局窓口「年賀状ポスト」に出すこと。

五、贈答用小包は、輸送機関の混雑しない二十日頃までに全部差し出し終ること。

火の用心

（綴って保存いたしましょう）

公庫 融資 金融 国民

中小企業者のために金融公庫（栃尾信用金庫取扱）では、次の要領によって貸出しを行なっておりますので、ご利用されるようお知らせいたします。

貸出しのお知らせ

一、申込締切日
毎月五日（受付は常時行なっています）

二、申込場所 栃尾信用金庫、栃尾商工会、市産業課

三、貸付金額 三十万円まで、（特別の場合は五十万円まで貸出しができます）
なお、十万円以上の借り受けをする場合は、保証人二人以上が必要です。

四、利率および返済方法、後利で日歩二銭六厘、十二カ月の月賦返済です。

中小企業対策に備え

中小企業総合基本調査を実施

通商産業省では、わが国中小企業の実態を明らかにして中小企業対策の基礎資料としあわせて中小企業の経営にあたつておられるかたがたの経営合理化・近代化の指針として役立たせるため、昭和三十二年十二月三十一日現在で中小企業総合基本調査を実施することになりました。

この調査は、本年さしあたり製造業に属する企業を選んで調査を行うことになつております。

つきましては、この調査の実施にあたつて通商産業省で任命した調査員が一月中旬頃該当の事業所へおじやまして説明のうえ、記入していただくことになつておりますからお手数とは存じますが、この調査のもつ重要性をよくご理解いただきまして、よろしくご協力下さるようお願いいたします。

なお、この調査は統計法に基く指定統計として行われるものでありまして、調査票を徴税等直接申告者に利害関係を生ずるような目的に使用したり、事実そのままを記入したため、申告者に不利益をもたらすようなことは絶対にありません。むしろ、皆さんの正確なご報告の結果、適切な中小企業対策が講ぜられ、中小企業経営の近代化、合理化がはかられることになるのですから、進んで事実そのままを調査票に記入して下さるようお願いいたします。

（総務課）

工業統計調査にご協力を

毎年行われる工業統計調査が、ことしも十二月三十一日現在で実施されることになりました。

調査内容は、昨年とほとんどかわりません。調査は、一月中旬に調査員が各事業所へおじやますることになつております。調査員があがりましたらよろしくお願いいたします。

歳末防犯!! 被害にかからぬ心得

いよいよ年末となりました多忙であり、お金の出し入れが多く、したがつて犯罪の多い月です。

次の点に重点をおいて防犯につとめ、平和のうちにお正月を迎えましょう。

一 家の中の盗難の予防はなんといつても留守にしないこと、戸締の施錠を完全にすること

二 外出するときは、必要以外のお金を持つて歩かないこと

三 汽車、電車、バスなどの乗物の中や混雑する所にはスリがいますから、財布や持物に充分用心すること

四 自転車やリヤカーは、ガンギ下や外におかないで必ず屋内に入れておくこと

五 お金の勘定や、しまつておく場所は人に見えないようにすること

六 多額の現金を銀行や農協郵便局などへ行つて出し入れするときは必ず屈強な男が行くこと

七 夜やすむときは戸締、施錠を厳重にし土蔵、倉庫、工場などの鍵も毎日よくたしかめること

八 混雑が予想される行事の主催者はあらかじめその予定計画等を警察署か保健所に連絡して雑踏事故予防につとめること

九 初もうでのときには、なるべく靴をはいて、石段を登りやすい服装でお参りしましょう

十 雑踏する場所へはなるべく年寄りや子供づれで行かないやうに、服装も身軽にして行き、万一犯罪や事故などが起きた場合は、現場をそのままにして警察に届けましょう

（栃尾警察署）

公明選挙ポスターコンクール 荷頃中 福島忠夫君入選

選挙は、民主政治の土台といわれます。土台が立派に築かれてこそよい建物ができることは明らかなことです。

みんなの力でよい選挙が行われ、よい政治を打ち建てたいものです。

そこでことしも自治庁、文部省などの主催によつて第九回公明選挙ポスターコンクールの作品募集が、学校の児童生徒を対象として行われ多数の応募がありました。

今回のコンクールで第一次審査（県段階）において中学校の部八人の入選者のうち栃尾市から荷頃中学校（校長中村留次）三年生福島忠夫君がみごと入選し、このほど都道府県選挙管理委員会連合会長から賞状を授与されました。

なお、県選挙管理委員会から、応募者全員に記念ノートが一冊ずつ贈られました。

市役所休暇のお知らせ

市役所では、例年のとおりきたる二十九日から一月三日まで一般事務を休みます。

ただし、十二月の会計の支払は、例月のとおり月末に行います。

解説

知っておきたい農地制度のはなし ②

—農地法を守りましょう—

その二 田畑の用途変更関係

田や宅地、山林等の農地以外の目的のために用途変更するには知事の許可をうけてから着工しなければなりません。

この場合、自作地でも、あるいは新たに借り入れ又は譲りうけて転用したい土地でも統制されていることに変りがありません。したがつて田畑を次のような目的のために使用したい場合はすべて許可を受けなければなりません

▽農業関係 農業倉庫、農家の住宅敷地（含付属地）農道、水路、溜池、植林、その他、農業用施設の敷地および用地

▽商鉱工業関係 店舗、工員、社員住宅敷地、道路、水路、工場、その他の建築物ならびに鉱業施設の敷地および用地

▽地方公共団体関係 教員住宅、市営什宅敷地、道路水路、溜池、貯水池、広場その他公用公共用建物ならびに施設等の敷地および用地

▽その他 墓地等

田畑の用途を変更するにはなぜこのようなやつかいの統制があるといいますと毎年宅地その他の敷地や用地になる田畑が五千町歩以上にもおよぶので（栃尾市の農地面積約三千九百町歩）不急不用、又は必要以上に転用することを防ぎ土地を効率的に利用するとともに建物、その他の施設などを設置することにより、付近の農地や作物などにあたえる悪影響を除き、農地を保全し、農業生産力の低下を防ぐことがねらいであつて単に田や畑を、宅地等に用途変更することを拒むためのものでありませんから必ず事前に知事の許可をうけてください。

専任職員の増員と中央公民館の建設要請を決議

第三回社会教育振興大会

市教育委員会市公民館連絡協議会主催の第三回栃尾市社会教育振興大会がさる十二月二十四日栃尾小学校において開催されました。

社会教育の研究大会は、これが三回目であり、本年は「振興」大会とし、社会教育の隘路についてそれぞれ出席者おのおのの立場から熱心な質問討議がなされ、まれにみる熱心な研究と討議が行われました。

まず教育委員長から開会挨拶を兼ね現在の社会教育予算の少ないこと、職員の不足の状況など説明があり続いて皆川市長、小林県議会議員、佐藤市議会議長から祝辞が述べられました。

その後、上塩谷公民館長佐藤照禅、市連合青年団長平林与一郎、市婦人会連絡協議会長佐藤一枝、PTA連絡協議会長今成雄策の四氏がおのおのの立場から現在まで歩み来たった道および現在最も困難な点についての意見発表がありました。

午後は、ロールブレイングという型式で「現在の社会教育の隘路について」というテーマで行われました。

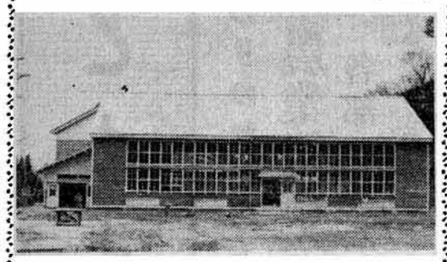
配役は、栃尾市長、同市議会議長、一般市民、公民館長婦人会長、青年団長、学校長、青年学級生でおのおの反対の立場の人達が本ものの公民館長や議長が出席している前で演出人気を呼びました。いずれも結論は地区、中央を通じて専任職員の不足、公民館建物および諸設備の不足などに問題が集中されました。特に佐藤市議会議長からかつて青年団長として奮斗した時代もあり、社会教育の面については深い理解と地域住民の熱意いかんによっては解決することができるものであり、協力する用意があると力強い発言があり、栃尾警察署長からは子供の犯罪についての実例など感銘ぶかい話がありました。

また、県社会教育課増井主事からこの日の概評および社会教育についての本質的な指導がありました。

なお、全体討議は議長の石田藤蔵氏の指名によって椿市議会議員が大会長になり、この日の研究会の結果を決議、有意義だった研究大会を閉会しました。【写真はロールブレイング】

サァできたぞ!!

荷頃中学校体育館



この体育館は、有限会社多田製材所が請負、8月24日地鎮祭を行なってから、着々工事が進み、予定どおりさる11月末日市教育委員会に引き渡されました。体育館の大きさは9K×15Kの木造建築で屋根はアルミかわらぶきで冬期間は雪が自然に落ちるため、雪おろしをしなくてもよいという近代建築です。

なお、同中学校ではさる4日創立十週年記念とかねてよろこびの祝賀式を行ないました。

納税思想普及

児童生徒の作品入選者（続）

作文の部

【小学校】

銀賞　一之貝三　上野とも子
〃　東谷三　原　恵美子
〃　荷頃三　酒井　誠
〃　樫出四　若杉　直芳
〃　〃四　勝沼千枝子
〃　荷頃四　西川　浩子
〃　人面五　土田　英男
〃　樫出五　中村　綾子
〃　来伝五　木間　桃子
〃　荷頃六　山本　武夫
〃　栃堀六　増沢サイ子
〃　東谷六　陶山マサ子

【中学校】

銀賞　荷頃一　佐藤　英二
〃　西谷一　保科　博昭
〃　栃尾二　坂井　マサ
〃　二　深滝　怜子
〃　荷頃二　多田　克典

〃　入東谷二　大崎　靖子
〃　下塩谷三　佐藤　一枝
〃　栃尾三　鈴木　千枝
〃　荷頃三　渡辺　弘

標語の部

【小学校】

銀賞　荷頃四　高島シズイ
〃　〃五　金内イミ子
〃　東谷五　馬場美智子
〃　〃六　佐藤　孝子
〃　森上六　磯部　勇男

【中学校】

銀賞　栃尾一　吉田あや子
〃　〃一　佐藤　チイ
〃　入東谷二　大崎　靖子
〃　荷頃二　茨木　久美
〃　下塩谷三　小原　功二
〃　入東谷三　多田　午郎

習字の部

【小学校】

銀賞　栃尾四　稲田ノリ子
〃　〃四　深滝美奈子
〃　〃四　笠井正二郎
〃　〃五　土田　修治
〃　〃五　寺本　恵子
〃　来伝五　佐藤　レイ
〃　栃尾六　鈴木　和子
〃　〃六　須本　薫
〃　半蔵金六　米山　範雄

【中学校】

銀賞　栃尾一　羽賀　信子
〃　上塩谷一　大崎　ミチ
〃　下塩谷一　小林佐喜子
〃　栃尾二　小林フサ子
〃　〃二　大久保良子
〃　〃二　小林　正樹
〃　東谷三　内山ヨシ子
〃　栃尾三　今井　正一
〃　〃三　西　タッ

ポスターの部

【小学校】

銀賞　栃尾三　梅沢　伸一
〃　〃三　船見　泰市
〃　荷頃三　猪俣　茂俊
〃　栃尾四　渡辺　恵子
〃　荷頃四　佐藤　義雄
〃　比礼四　佐藤　信子
〃　荷頃五　麺波　定作
〃　〃五　諸橋　宏明
〃　樫出六　渡辺　松弘
〃　栃尾六　鈴木　和子
〃　比礼六　小川　明

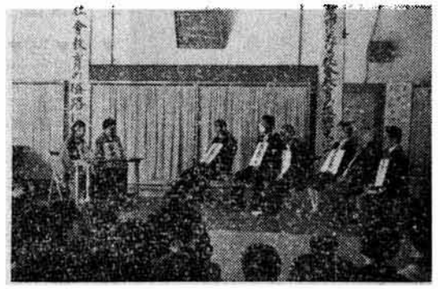
【中学校】

銀賞　栃尾一　青木　茂
〃　荷頃一　浅野　恵子
〃　中野俣一　諏佐　彰映
〃　荷頃二　酒井田鶴子
〃　〃二　佐藤　清春
〃　中野俣二　金内　俊勝
〃　〃二　林　のり子
〃　二　金内奈津美
〃　二　姉崎　英子

偽称寄付行為にご注意

国際友愛協会という団体が被原爆者救援のためと称して県内で寄付行為を行なっていることがこのほどわかりました。この団体は日本原水協および県原水協（原水爆禁止新潟県協議会の略）とはなんの関係もなく、救援活動は、日本原水協と県原水協が行なっております。もし国際友愛協会および類似団体が寄付行為をやっている事実がありましたら、次にご連絡してください

新潟市東堀七　原水爆禁止新潟県協議会



金賞　税金でぼくらは笑顔で勉強出来る

荷頃小学校五年　諸橋　正由

金賞　税金を早く納めてよいまちに

東谷小学校五年　佐野　信子

十二月の古税は

固定資産税第三期分
国民健康保険税十二月分　であります

インフルエンザが流行中

父兄のご協力を望む

冬の訪れとともにインフルエンザにかかって学校を休む児童生徒が増加して、市内にも臨時休校や、学級を閉鎖した学校がかなりあります。そこでこのような状態をなくするよう次のことに注意して児童生徒の健康保持にご協力願います。

◎予防するには

1　予防注射をうけることが望ましい。

2　常に子供の健康状態に注意してください。

3　学校から帰ったとき、夜ねるとき、朝起きたとき、うがいを励行する習慣をつけさせてください。うがいは水で結構ですが、食塩（1%）硼酸水（1%）ならなお結構です

◎かぜにかかったら

1　暖くして静かに休むことが第一で決して無理をさせないでください。

2　熱が高いときは、早目に医師に見てもらって適当な治療をうけてください。

3　熱が下がっても二、三日静養しないとぶりかえしたり肺炎などの余病をおこすことがありますから、完全になおるまで登校させないでください。

4　かかった子供が無理をしたり、なおりかかって、もういいだろうと思って登校するときは、子供自身にも悪いがそれだけでなく、他の子供にうつすことになりますからご注意ください。

5　やむをえず登校するときは、清潔なマスクをつけさせてください。

（学校教育課）

公明選挙「話しあい」進める

明るい政治は、公明な選挙をと呼びかけて、選挙管理委員会では、この夏以来「話しあい」による方法で有権者の啓発に努力して参りました。

さる十一月五日から十五日までの十一日間は、公明選挙強調期間でありましたので、同期間にちなんで、十一日入東谷公民館において話しあいを実施いたしました。

当日は、「公明選挙をばんでいるものは何か」の題目のもとに、入東谷地区の公民館運営審議委員、新生活運動推進員、区長、青年会及び婦人会の幹部のご参加を得て、司会者に棒入東谷公民館長、助言者に神子田中央公民館長および選挙管理委員会書記があたり、熱心に話しあいを進めました。また、話しあいの技術についても勉強いたしました。

ついで「夫と妻とけんかした話」「道遠けれど」の公明選挙映画を観覧して、有意義なひとときを過ごしました。

【写真は話しあいをする人々】

おやじ教育と反省　①

中央公民館

頭は働かないのであります。したがつておやじはもの覚えが悪くガンであるなどと青年や婦人の集つている席上でいわれるのも決しておやじのもの覚えが悪くガンコのためばかりではなくて、こうしたおやじの生活がガンコにし、もの覚えを著しく妨げることがはなはだ多いのであります。

第二　若い時代は生命がみなぎつているので、少々の危険を押し切つても目的に向かつて突進する傾向があるのですが、おやじになると生命力もしだいに低下するので、理想に向かつて一途に前進することができなくなります。ことに若い時代と異なつて、ひとり身でなく、家族はあるし親戚の関係もあまりそそうにはできないし、また、失敗してメンツを失うようなことがあると浮ばれないし、憎まれたり、笑われたりしても困るし、というわけから、今かりになにか良いことのように思われても殊にそれが危険を伴うようなものであればそれだけ手を出さなくなるものですそのうえおやじは、経験上新しいことには危険が多く、他人のやつた経験ずみのことは安全であると知つているので少々不便でも新しい道を歩むことを試みないのです。この傾向は農村部において特に著しいのですが隣近所に常に気がねをし、限られた土地と天候に生活をゆだねなければならない。無駄や、若い人達に笑われるようなことでもむざむざ虚勢をはつて見えをはり一にも二にも体面にこだわりそして少々の努力ではとうていその生活を改めることのできない農民としてはまことにやむを得ぬのがあるわけであります。

こうして、おやじは一般に現状維持的になり、なかなか前進できないので物事の考え方を改めるとか、改革を行うとかいうことがはなはだオックウになるのであります。

新生活運動

年末年始の贈答はやめましょう

昭和三十二年もあと二十日になりました。ことしこそ年末年始のむだな贈答を全市の家庭がやめましょう約束ごとのやり取りなどや、別段ひいきや世話にもならず、あたり前のことがらに対し、慣例だからといつて見えをはつて贈答品をおくる習慣はやめましょう。贈る人はむだ、贈られる人は迷惑であることを良く知つておきましょう。

また、お正月には、家族そろつて楽しい家庭行事を中心にして、年始回りはしないように自粛いたしましょう。もしやるなら町内や部落ごとにやつて個々の家庭訪問はやめましょう。

また、新年の門松や若木迎えは、できるだけ自粛いたしましょう。昨年以来しん松を飾る不心得者もなくなり、松樹はよろこんでいますからことしも昨年より以上お互が自粛して森林資源の愛護にご協力願います。

田代、九川に冬季分校を開設

冬期間の降雪によつて通学するのに困難な児童のためにことしも半蔵金小学校田代分校（高学年）と上塩小学校九川分校の二校が冬季分校として十二月一日から明年三月三十一日まで開設されます。

なお、半蔵金小学校田代分校は五年生（九人）、六年生（六人）、で保科規子先生、上塩小学校九川分校は一年生（一人）、二年生（四人）、三年生（三人）で藤田ヤヨイ先生が担任教員として指導にあたられています。